

港灣労働者の生活をして餓死的條件の下に重壓を加へるに至つた。
 この間に處して我が大阪海友同志會は一切の反動と暴壓に抗して果敢に大阪港灣労働者解放の爲に
 幾多の輝かしき闘争闘歴を有し、たゆみなく続け來つた同志獲得カンパを通じ結成以來組合員二千有
 余を算し港聯の一翼として重要な地位を占むるに至つた。然しながら吾等は之に依つて斷じて事
 定めりとするものではない、全大阪港灣労働者、四萬の従業員にして生活權に對する正當防衛の實力
 を行使し得る者は其の二十分の一に滿ざる事案、諸般の狀態を觀察する時、當面の重大問題たる職
 働の整備組織の擴大強化こそ吾々に課せられたる重大使命でなくてはならぬ。

組合員數(昭和八年四月末現在)

小 型 船 員	中 型 船 員	大 型 船 員	合 計
3 4 2	1 4 6 7	1 6 8	1 9 7 7

各地區域別組織狀態

組織範圍たる職場	現在の狀態
安 治 川 筋 方 面	昭和六年十一月八日安治川支部結成大會 既に有力なる地盤となつてゐる

尼 無 川 筋 方 面	現在はまだ局部的に組織化せる狀態なる も着々組織網を擴大しつゝあり。
木 津 川 筋 方 面	以前に組織されたる舊地盤にして、最近 再建運動に着手せり。
尼 ヶ 崎 方 面	強固なる既成地盤たり。
高 野 堀 方 面	小型船及自由労働者の職場にして、小型 船員に局部的組織あるのみ。
大 阪 港 内	着々として組織率増加しつゝあり。
阪 若 間 曳 船 及 被 曳 船	

諸會議報告

諸會議報告に關しては詳細たる内容を省略し、單に其の回数及び最も重要な阪神合同に關する議
 事を報告するに留める。

幹 部 會 二十四回
 役 員 會 三回